



2019年5月14日

各 位

会社名 ユニデンホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役社長 早寄 英二
 (コード番号 6815 東証第一部)
 問合せ先 財務経理部 部長 菊本 正司
 電話番号 03-5543-2812

2019年3月期通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2019年3月期決算において、下記の通り、2019年2月12日に公表しました平成31年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期連結業績予想と実績値の差異 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 30,330	百万円 4,040	百万円 4,010	百万円 2,650	円銭 450.49
実績値 (B)	21,261	2,647	2,735	1,676	284.97
増減額 (B - A)	△9,068	△1,392	△1,274	△973	
増減率 (%)	△29.9	△34.5	△31.8	△36.8	
(ご参考) 前期実績通期 (2018年3月期通期)	15,141	1,993	1,970	1,768	30.06
増減率 (%)	40.4	32.8	38.8	△5.2	

2. 差異の理由

電機事業では、北米市場における大手顧客の購買方針の変更による売上減、および新機種の開発遅れによる売上減、オセアニア市場においては見込んでいたコードレス電話、UCB無線機器のシェアの拡大が予定通りに進まなかったことなどが要因となっています。

不動産事業においては、前期に比べ売上高で234%増という結果ではありましたが、期首に計画していた物件購入数を下回り、安定した賃料収入を維持する目的で売却を控えたため、業績予想に対して46.4%減少となりました。

その結果、業績予想に対し売上高9,068百万円 29.9%の減少(対前期は6,120百万円 40.4%の増加)、営業利益1,392百万円 34.5%の減少(対前期は654百万円 32.8%の増加)、経常利益1,274百万円 31.8%の減少(対前期は765百万円 38.8%の増加)、親会社株主に帰属する当期純利益931百万円 36.8%の減少、(対前期は50百万円 5.2%の減少)となりました。

以 上